

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 県立高校長期構想検討委員会報告(素案)
 意見募集期間 : 平成19年1月29日(月)～2月19日(月)
 意見等の提出件数 : 446件(229人)

項目等	意見等の概要	件数	県立高校長期構想検討委員会の考え方
全体を通して	・貴委員会の「学びたいことが学べる魅力ある学校づくり」を目指す取組に感謝と敬意を表す。	10	本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。
	・これまでの高校教育改革の実施状況、評価及び課題が理解できた。	1	
	・今後も学びたいことが学べる学校選択の道をさらに進めていただきたい。	1	
	・現在の社会情勢から見て、今回の報告(素案)は、評価できる内容が多く盛り込まれている。	1	
はじめに	・第一次実施計画においては、様々な反対運動が行われており、計画が着実に実施されているとはいえない。	2	資料の23～25ページの高校教育改革の推進状況を見ると、計画は着実に推進されていると考えます。
第一次実施計画の評価 〔全体の評価〕	・生徒の多様化への対応などの観点では、第一次実施計画の進捗状況については確かに評価できる。	1	本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。
	・第一次実施計画において、神戸市内においては子供の高校進学やその経済的負担に大きなひずみが生じている。	1	
	・兵庫の高校教育が抱えている諸課題、すなわち受験競争の過熱化や不登校、中途退学などについての包括的な分析・検討が行われていない。	1	
	・現場からのフィードバックのない評価で自画自賛である。 ・検討委員会で検証するのであれば、独自にアンケートをするべきではないか。	2	
〔各項目ごとの評価〕 1 魅力ある学校づくりの推進 (1)総合学科の設置	・総合学科は、高校教育改革のパイオニア的存在として、地域のニーズに応え魅力を出すよう努力している。	1	本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。
	・総合学科の教育内容については、さらに充実させていってほしい。	1	

			向性】の中に、「今後は多様な生徒に対応した学科として、さらにその教育内容の充実を図ることが望ましい」と記述しています。
	<ul style="list-style-type: none"> 新しく設置した総合学科が魅力的な学校になるかどうかは、最初の3年間で勝負である。その意味で、今後も継続的に中学生や保護者等に、その魅力やしぐみを周知・広報して欲しい。 	1	<p>ご意見を反映しました</p> <p>3ページの1(1) 【課題】の8行目及び4ページの1(2) 【課題】の7行目を次のように修正しました。</p> <p>「<u>継続的に説明していく必要があるのではないか</u>」 (アンダーライン部分を追加)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科高校を複数志願選抜実施校の中に入れることはできないか。 	1	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります</p> <p>ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 総合学科が多くの生徒にとって満足できる学校になっているか、在校生・卒業生・保護者の意見集約をしてほしい。 総合学科については、生徒や教員、地域の評価はあまりよくないのではないか。 	3 2	<p>ご意見を反映しました</p> <p>3ページの1(1) 【課題】の5行目を次のように修正しました。</p> <p>「<u>生徒の期待に応えられるものになっているかどうかを検証し</u>」 (アンダーライン部分を追加)</p>
(2) 全日制普通科単 位制高等学校の 設置	<ul style="list-style-type: none"> 単位制高校の中には、設置科目が学年制の学校と数科目しか変わらない学校もある。 単位制高校は中途退学者を受け入れたり、多様なニーズに応えるために設置されたはずだが、全国的にも進学に重点をおいた単位制高校が作られており、学校格差を広げることになる。 	1 2	<p>ご意見を反映しました</p> <p>4ページの1(2) 【課題】の3～4行目を次のように修正しました。</p> <p>「<u>多様な生徒のニーズに対応した幅広い選択科目の設置とともに、体系的な教育内容も充実させていく必要があるのではないか</u>」 (アンダーライン部分を追加)</p>
(3) 新しい専門高校 及び特色ある専 門学科の設置	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある専門学科の志願者倍率は、あまり伸びていないのではないか。 	1	<p>平成19年度入学者選抜における志願倍率を見ると、特色ある専門学科の志願倍率は、推薦入学全体の志願倍率1.59倍と比べて多くの学校で高い倍率となっています。</p>
(4) 各学科の特色化 の推進	<ul style="list-style-type: none"> 改編された香住高校の海洋科学科については、十分な説明を中学校や地域・保護者をお願いしたい。 	2	<p>ご意見を反映しました</p> <p>10ページの1(4)【配慮すべき事項】の10～11行目に、新しく次の文章を挿入しました。</p> <p>「<u>新たに改編・設置された学科については、その内容や魅力を中学生やその保護者に周知・広報することが必要である</u>」 (アンダーラインの文章を挿入)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 但馬では農業科や畜産科と水産食品科や漁業科は素晴らしい実践をしている。もっとPRし、地元産業に根付く学校となしてほしい。 全県から試験で点数の取れる生徒を集めるだけの特色化にならないようにし 	1 2	<p>1 具体の施策を実施する際の参考となります</p> <p>ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が高各校の特色化を進めていく際の参考となります。</p> <p>2</p>

	<p>てほしい。</p> <p>・普通科の特色化と書かれているが、何のために看板のかけかえが必要なのか。作られたコースが兵庫県の高次教育にとって必要なのか。</p>	2	<p>4～5ページの(4) 【成果】の記載のように、コース設置校へのアンケートでも約81%の学校が「生徒の学習ニーズに対応できた」と回答するなど、コースの改編は評価できる結果になっています。こうした結果を受けて、10ページの(4)【方向性】で「特色ある類型をコースに改編することなどを検討することが望ましい」と記述しています。また、【配慮すべき事項】の中に「学校全体の将来構想の中で、コースの在り方を検討する必要がある」と記述しています。</p>
<p>2 県立高等学校の望ましい規模と配置</p>	<p>・「小規模校＝活力のない学校」とは言えないと思う。今後も統合や募集停止は避けられないとしているが、交通の利便性や高額な通学費等を考えて、機械的な統廃合計画には反対する。</p> <p>・学費や交通費を出す親だけでなく生徒にも負担がかかる統合はやめて欲しい。</p> <p>・高校統廃合は、教職員はもとより地域住民から反対があったことを踏まえるべきである。</p>	1 2 4	<p>1 第二次実施計画を推進する際の参考となります 本検討委員会としては、5ページの2 【課題】で「生徒数が減少する中、高校の教育活動の活力を維持するためには、今後も統合や募集停止は避けられない場合もあるが、その際には通学の利便性や交通費なども考慮する必要がある」、12ページの2【配慮すべき事項】で「統合や募集停止を行う際には、中学校の卒業生数の推移等を踏まえるとともに、通学の利便性や交通費等地域性についても十分考慮すべきである」と記述していますが、ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
<p>3 入学者選抜制度 ・方法の改善</p>	<p>・特色選抜の実施は評価できる。</p> <p>・複数志願選抜の導入により、過度の受験競争の緩和に一定の成果があったことは評価できる。</p> <p>・加印学区にも複数志願選抜が導入され、学区内の教育改革の流れを感じる。</p> <p>・総合選抜制度の検証と評価をなぜしないのか。総合選抜制度の何が問題で、複数志願選抜はその問題をどのように解決するのか、公正な立場で検証すべきである。</p>	1 1 1 1 3	<p>1 本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1 3 総合選抜については、平成10年度に設置した全日制高等学校長期構想検討委員会で、すでに検証されています。問題点として、志願校を自由に選ぶことの制限が指摘されました。一方で、単独選抜についても、受験競争の過熱化やいわゆる学校の序列化の進行の問題が指摘され、これらの問題を解決するために、単独選抜と総合選抜の両方の長所を取り入れた新しい選抜制度の導入が提言されました。この提言を受けて、第一次実施計画が策定され、新しい選抜制度は神戸第三学区を最初に、すでに4学区に導入されています。</p> <p>こうした経緯から、本検討委員会では、再度総合選抜の検証から行うのではなく、第一次実施計画で導入された新しい選抜制度の評価・検証を行いました。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・複数志願選抜を行っている地域において、受検生徒や保護者へのアンケートを実施しているのか。実施しているなら公表すべきである。 	<p>1 複数志願選抜と特色選抜からなる新しい選抜制度で入学した生徒や保護者へのアンケート結果については、資料の53～62ページに記載しています。また、県教育委員会のホームページにも公表されています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・複数志願選抜を過大評価している。入学者の約90%が高校生活が「充実している」と答えたのは選抜制度のためなのか。また、その他校合格が1%未満ではセーフティネットの役割を果たしていない。さらに、第1志望の決め手で「校風・雰囲気」が多いことと、目的意識を持った学校選択との関わりがわからない。 	<p>7 複数志願選抜と特色選抜からなる新しい選抜制度の検証については、資料の46～62ページにあるとおり、志願状況・合格状況等のデータの分析や、新入生・保護者・中学校・高校へのアンケート調査の結果をみれば、制度は定着しつつあり、新しい選抜制度の目的に沿った結果となっています。</p> <p>また、資料の63ページにあるとおり、新しい選抜制度で入学した3年生の生徒全員へのアンケートでも、高校生活の充実度が入学時より上がったという結果も出ています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・複数志願選抜で志願校を選んで受検するのは、結局単独選抜と同じではないか。 ・複数志願選抜にはどんな利点があるのかわからない。 ・複数志願選抜が導入されれば、学校間格差が広がる。 ・神戸第三学区では、複数志願選抜の導入で、従来あった格差が見えにくくはなっているが、それでも格差は緩和されてはいない。 ・神戸第三学区では、当初新しい選抜については中学校の教員もわからない状態で不安が一杯だった。 ・姫路・福崎学区の実態は、単独選抜のもとで希望校を2校書かせる制度に事実上なっている。 ・加印学区や北播学区では、単独選抜より受検方法が難しくなったという声を聞く。 	<p>2 ご意見を反映しました 12ページの3【配慮すべき事項】の5行目に、新しく次の文章を挿入しました。</p> <p>2 「<u>新しい選抜制度を導入した際の検証は、継続することが望ましい</u>」</p> <p>9 (アンダーラインの文章を挿入)</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>3</p> <p>2</p>
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を進めるのは体験活動の充実だけでなく、学びの充実や定着を図る上からも必要ではないか。 	<p>1 ご意見を反映しました 9ページの〔今後の高校教育のあり方〕11～12行目及び11ページの(7)【方向性】5行目を次のように修正しました。</p> <p>9ページ 「<u>生きる力をはぐくむために、また生徒の学びの充実や定着を図る意味でも、キャリア教育を進めていくことが望ましい</u>」 (アンダーライン部分を修正)</p> <p>11ページ 「<u>生徒の生きる力をはぐくむために、また学びの充実や定着を図る意味でも、すべての教育活動に</u></p>

		<p>当たってキャリア教育の・・・」 (アンダーライン部分を追加)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ニートやフリーター等の問題は、行き過ぎた競争の教育や、殺伐とした格差社会が子どもたちに深刻な影響をもたらした結果発生している問題である。 	<p>1 本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、7ページの5【課題】の中の2～4行目に、「こうしたことに対応していくためには、学校教育だけでなく家庭教育も重要であり、企業の採用をはじめとした社会の問題も影響しているのではないか」と記述しています。</p>
<p>第二次実施計画の方向性 〔全体の方向性〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の方向性については、報告のとおりでよい。 	<p>2 本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次実施計画で進めている「学びたいことが学べる魅力ある学校づくり」の方向性を第二次実施計画でも進めてほしい。 	<p>1</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある学校づくりは大いに進めてほしい。教師も生徒も生き生きとした活力ある学校づくりを期待する。 	<p>1</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・今なぜ「改革」が必要か検討したのか。現在の高校教育が、生徒の長い人生に対してどういう役割を果たしているのか、何が足りないのかの分析が必要ではないか。 	<p>1 本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、検討委員会としても議論しました。その内容は8～9ページにかけて〔第二次実施計画の全体の方向性〕と〔今後の高校教育のあり方〕の中に記述しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として、国際化への視点についての記述が少ない気がする。 	<p>1 ご意見を反映しました 8ページの6行目を次のように修正しました。 「今後も国際化や高度情報化など、多様化が進む社会の中では・・・」(アンダーライン部分を追加)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒の学習ニーズを踏まえてと書かれているが、生徒は本当に多様なニーズを持っているのか。 ・高校の多様化・特色化は、生徒の個性の伸長を妨げ、格差の固定につながる。 	<p>1 9ページの〔今後の高校教育のあり方〕に記述していますように、高校進学率が97%を超える中で、多様な興味・関心や能力等を持った生徒が高校に入学しています。そうした個々の生徒の個性を伸ばし、生徒の多様な能力を引き出すことができるような教育内容を創意工夫することが必要であると考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・報告（素案）は第一次実施計画の延長線上にある印象が強く、新たな構想は見えにくい。 	<p>1 本検討委員会では、第二次実施計画を第一次実施計画と切り離して新たな構想を検討するのではなく、第一次実施計画の評価・検証を行い、その継続性のもとでの第二次実施計画の方向性を協議しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「魅力ある学校」とは誰にとって魅力あるのか。 ・それぞれの県立高校が魅力ある学校づくりを進め、ぜひそれを強く地域や中 	<p>1 ご意見を反映しました 8ページの〔第二次実施計画全体の方向性〕の16～17行目を次のように修正しました。 「生徒にとって学びたいことが学べる魅力ある学</p>

	学校に発信してほしい。		校づくりを進め、 <u>その情報を発信していくことが望ましい</u> 」 (アンダーライン部分を追加)
〔今後の高校教育の在り方〕	・報告(素案)に記述されている〔今後の高校教育のあり方〕には大いに共感し、賛成する。	2	本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。
	・基礎・基本を徹底的に行い、教師が丁寧な指導をすべきである。	1	本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、9ページの〔今後の高校教育のあり方〕の中の4～5行目に、「すべての生徒に基礎・基本の学力を十分保障できる教育課程・内容の工夫・改善や、そのための支援を行うことが望ましい」と記述しています。
	・自分がどの職業・分野に向いているかなど、15歳ぐらいではわからない。高校の特色などいらないと思う。	7	9ページの〔今後の高校教育のあり方〕に記述していますように、97%を超える中学生が高校に入学する中で、生徒の個性を伸ばし、生徒の多様な能力を引き出すような教育内容を創意工夫するなど、高校の特色化が必要であると考えています。また、3ページの1(1)と(2)の 実施状況及び4ページの(3) 実施状況に記載していますように、総合学科、単位制高校、新しい専門高校や特色ある専門学科で学ぶ生徒へのアンケートでも、それぞれの特色が評価された結果になっています。
	・考える態度や人に接する態度を身に付け、人格を育てる教育を進めるべきである。	2	ご意見を反映しました 9ページの〔今後の高校教育のあり方〕の13～15行目に、新しく次の文章を挿入しました。
	・学力の向上は大切なことであるが、それより友情をはぐくみ、情操が豊かになるような教育を望む。最近、いじめや自殺が増大しているが、受験競争や格差拡大が子どもたちの心を荒れさせていると思う。	1	「 <u>教科の学習だけでなく、ホームルーム活動や生徒会活動、学校行事、部活動等を通じて、自分自身や自己と他者の関係、さらには社会について強い関心を持ち、人間や社会のあるべき姿について考える教育を推進することが望ましい</u> 」 (アンダーラインの文章を挿入)
	・学校の特色化については、カリキュラムや学校設定科目の設置だけでなく、部活動や生徒指導、体験活動なども考えてもいいのではないか。	1	
・公立高校も競争に勝つという視点や、優秀な者を伸ばすという視点は必要である。	1	1	本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、7ページ5【課題】の中に「多様なニーズに対応していくことも必要であるが、学力の本質を見失わないようにすべきではないか」、9ページの〔今後の高校教育のあり方〕の中に「生徒の個性を伸ばし、生徒の多様な能力を引き出すことができるような教育内容を創意工夫することが望ましい」「多様化した社会に対応できる『教養ある人間づくり』という視点も重要である」と記述しています。
・公教育の中で、しっかりした人材の育成を期待する。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・97%の中学生が高校に入学するようになって、生きる力を育んだり、心の教育をしたりするにはどんな学校がよいのか、また、どんな学力の生徒にとっても学ぶ意味を見いだしステップアップできる高校とはどんな学校か、そのための学校像を示して欲しい。 	1	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります</p> <p>本検討委員会では、9ページに〔今後の高校教育のあり方〕を記述していますが、ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
<p>〔各項目ごとの方向性〕</p> <p>1 魅力ある学校づくりの推進</p> <p>(1)総合学科の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性に、総合学科の教育内容の充実があげられているが、そうなると各学校からの細かい要望への対応が必要であり、人や金の手立てを考えて欲しい。 	1	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます</p> <p>ご意見の趣旨については、14ページの「おわりに」の中に「高校教育改革を着実に推進されるとともに、その実現に向けた施策の展開や施設・設備の充実など、財政措置を含めた必要な公的支援を講じられるよう要望する」と記述しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科は志願倍率にかげりが見え始めている実態から、もとの普通科高校などに戻すべきである。 ・総合学科は、志願倍率が伸びないからもう増やさないのか。 	1 2	<p>平成19年度の推薦入学における総合学科の平均倍率は1.80倍で、昨年の平均倍率1.72倍や本年度の推薦入学の平均倍率1.59倍より高い倍率となっており、ニーズのある学科であると考えています。</p> <p>総合学科が妥当な配置状況と考えているのは、3ページの1(1)の 実施状況、 評価【成果】の中に記述しているように、原則として普通科の学区に各1校という設置目標に対して、16学区中で学校数の少ない2学区を除く14学区に設置されており、県下のいずれの地域からも総合学科に進学できる状況となっているからです。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科では、もっと地域に密着した系列や講座を開設してほしい。また、総合学科と普通科の連携も進めてほしい。 ・総合学科では、基礎・基本を学ばず、生徒の興味ある分野だけ受講し表面的なことだけ学ぶことにならないようにしてほしい。 ・総合学科での先進的な取組を、他の学科でも是非活かしてほしい。 	1 1 1	<p>ご意見を反映しました</p> <p>9ページの1(1)【配慮すべき事項】の1～2行目及び3～4行目を次のように修正しました。</p> <p>「既設の総合学科について、<u>地域と連携した科目などの特色ある専門科目や学校設定科目の設置、</u>・・・」</p> <p>「・・・近隣の普通科など他の学科でも活かす取組や<u>他の学科と連携した取組</u>を考える必要がある」</p> <p>(アンダーライン部分を追加)</p>
<p>(3)新しい専門高校及び特色ある専門学科の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・氷上高校に情報科を設置し、最先端の研究をしている大学との連携が図れば魅力ある学科が設置できる。 	1	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります</p> <p>本検討委員会では、10ページ(3)で方向性を示していますが、具体的な学校についての協議はしていません。ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・西宮にできた芸術文化センターや、県立美術館をもつ兵庫県として、それにふさわしい芸術高校を新設してほしい。 	1	<p>10ページの(3)【方向性】に記述していますように、新しい専門高校については、すでに芸術に関する専門学科や総合学科の系列、普通科の類型も設置されていることから、設置の必要性は少ないと考えています。</p>

<p>(4)各学科の特色化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科のニーズが多い中で、普通科の特色化を進めることが大切であると思う。 ・普通科においては、進学指導だけでなく多様で柔軟な特色ある学校づくりをしてほしい。 	<p>3 ご意見を反映しました 10ページの(4)【方向性】の1行目を次のように修正しました。</p> <p>2 「普通科においては、<u>多様で柔軟な特色ある学校づくりを進めるために</u>、地域や学校及び生徒の実態に応じて・・・」 (アンダーライン部分を追加)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・能力に応じて、理・数がしっかり学べる普通科高校がほしい。小中高大が連携して、理数好きの生徒の層を厚くする必要があると思う。 	<p>1 本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、10ページ(4)【方向性】に「普通科においては、・・・特色ある教育課程の編成を行うとともに、・・・幅広い分野にわたる特色ある類型の設置や、特色ある類型をコースに改編することなどを検討することが望ましい」と記述しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の幅広い可能性を広げることが大切であり、基礎基本がおろそかになってはいけない。また、各校でガイダンス機能の充実にも努めて欲しい。 	<p>1 本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、10ページ(4)【配慮すべき事項】に「高校教育としての基礎・基本の徹底や学びの総合化にも留意する必要がある」「生徒の幅広い進路の可能性を狭めることのないよう、教育課程の工夫やガイダンス機能の充実に配慮する必要がある」と記述しています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科はすべての教科・科目を分け隔てなく教える学科で、特色化する必要はない。選択制をなくし、すべての教科・科目を等しく学ぶ教育課程の編成を進めるべきである。 	<p>3 9ページの〔今後の高校教育の在り方〕に記述していますように、97%を超える中学生が高校に進学する中で、生徒の個性を伸ばし、生徒の多様な能力を引き出すような教育内容を創意工夫するなど、高校の特色化が必要であると考えています。特に、学科の特色が見えにくい普通科に特色化が必要であると考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科のコースで何度も定員割れをしている学科については、不足分を普通科の募集定員にプラスするか、募集停止するなどの検討をして欲しい。 ・現在のコースは役割が終わっていると思う。もっと多様にするか、廃止するかである。特に国際文化系コースは見直してもいいのではないか。 ・既設の高校のコースについて、明確な方向性を示し、さらに魅力あるコースになるよう努力して欲しい。 	<p>2 第二次実施計画を推進する際の参考となります 本検討委員会では、10ページ(4)の【配慮すべき事項】の中に「学校全体の将来構想の中で、コースの在り方を検討する必要がある」と記述していますが、具体の学校についての協議はしていません。ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p> <p>2 </p> <p>1 </p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本社会が従来大切にしてきた産業を継承する農業科、漁業科など、従来の第一次・第二次産業的な学科を大切に、社会を支えていく人材を育成してほしい。 	<p>2 ご意見を反映しました 10ページの(4)【方向性】の5行目を次のように修正しました。 「職業教育を主とする専門学科については、<u>社会を支えていく人材を育成するために</u>、社会や産業構造の変化を考慮し・・・」 (アンダーライン部分を追加)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・今後、第二次実施計画を策定する際に専門学科の方向性については、企業が高校卒業の生徒にどんなレベルを要求しているのか、現在の高校ではどのレベルまで養成できているのかを見きわめる必要がある。今後の専門学科は、社会や産業構造の変化とともに、地域の産業を支えるという視点も大切になってくるだろう。 ・職業教育を主とする専門学科の改編にあたっては、地域の産業や地域の要望等を十分考慮し、単に生徒数の増減のみの改編とならないようにしてほしい。 	<p>1</p> <p>1</p>	<p>ご意見を反映しました 10ページの(4)【配慮すべき事項】の5行目を次のように修正しました。 「職業教育を主とする専門学科の改編や統合に当たっては、<u>産業構造の変化への対応</u>など社会のニーズを踏まえるとともに、・・・」 (アンダーライン部分を追加)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・農業教育は、衣食住すべてを作り出す根幹となる教育で地球温暖化の影響も実感できる。農業土木は里山の保全など今後の日本の将来にも大切な要素である。農業教育の重要性を認識してほしい。 ・専門学科については、再編成を進めていく必要がある。 	<p>1</p> <p>1</p>	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、10ページ(4)【配慮すべき事項】に「職業教育を主とする専門学科の改編や統合に当たっては、産業構造の変化への対応など社会のニーズを踏まえるとともに、全県的な学科の配置バランスや地域の産業との関係を考慮すべきである」と記述しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に1校しかない専門学科については、その改編は慎重に行ってほしい。 	<p>1</p>	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、10ページ(4)【配慮すべき事項】に「職業教育を主とする専門学科の改編や統合に当たっては、産業構造の変化への対応など社会のニーズを踏まえるとともに、全県的な学科の配置バランスや地域の産業との関係を考慮すべきである」と記述しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・職業に関する専門学科の高額な施設・設備については、協同研修センターのような施設の充実を図ってほしい。 	<p>1</p>	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります ご意見の趣旨については、14ページの「おわりに」の中に「高校教育改革を着実に推進されるとともに、その実現に向けた施策の展開や施設・設備の充実など、財政措置を含めた必要な公的支援を講じられるよう要望する」と記述していますが、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・専門学科について、高度な専門的知識・技能が習得できるよう、定員を減らし、少人数で濃密な指導が受けられる体制にできればよい。 	<p>3</p>	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・但馬では通学できる高校が限られている。そのため、地元の高校が魅力ある学校、入学後の多様なニーズに対応でき、学びたいことが学べる学校になるよう望む。 	<p>2</p>	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を策定する際の参考となります。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科高校の特色を進めるなら、施設・設備等を改善してほしい。 	1	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます</p> <p>ご意見の趣旨については、14ページの「おわりに」の中に「高校教育改革を着実に推進されるとともに、その実現に向けた施策の展開や施設・設備の充実など、財政措置も含めた必要な公的支援を講じられるよう要望する」と記述しています。</p>
(5)中学校と高等学校の連携及び中高一貫教育校の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・連携型中高一貫教育校は、読書等受験以外の教養を身に付けるゆとりが生まれるので、基本的に賛成である。 	1	<p>本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・千種高校の存続は住民にも地域にも大きな活力となり、将来への希望や明るさを与える。千種高校を存続し、千種中学と千種高校が連携型中高一貫教育校となることを強く希望する。 ・氷上西高校については、連携型中高一貫教育校の検討とともに、スクールパスの運行も検討して欲しい。 ・連携型中高一貫教育校への改編については、今後地元との十分な合意を図りながら、望ましい方途を探って欲しい。 	6	<p>ご意見を反映しました</p> <p>11ページの(5)【方向性】の4～5行目を次のように修正しました。</p> <p>「・・・連携型中高一貫教育校に改編することについて、<u>具体の検討を進める</u>ことが望ましい」</p>
		1	<p>(アンダーライン部分を追加)</p>
		1	
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校現場にいる者として、中高連携の必要性が高いと感じている。オープンハイスクールや説明会・見学会のみならず、例えば三田市内では、有馬高校や三田祥雲館高校の発表会に中学校の教員が招かれ交流が図られている。この様な取組を広げることが必要ではないか。 	1	<p>具体の施策を実施する際の参考となります</p> <p>ご意見で示されたような取組は三田市内の高校以外でも行われていますが、こうした取組をさらに広げるために実施方法を工夫するなど、今後、県教育委員会が具体的に中高の連携を進める上での参考となります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・中高連携と中高一貫教育校の設置は、別の次元である。 	1	<p>中学校と高等学校の連携と中高一貫教育校の関係については、11ページの(5)【配慮すべき事項】の中に「連携型中高一貫教育をモデルとして、中学校と高等学校の連携の在り方を研究していく必要がある」と記述しています。</p>
(6)大学や地域等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・方向性で、高大連携の推進が示されているが、但馬など大学が近隣にない地域での高大連携においては、TV会議システムなども活用できるよう工夫する必要がある。 	1	<p>ご意見を反映しました</p> <p>11ページ(6)【方向性】の3行目を次のように修正しました。</p> <p>「・・・高校と大学等の双方向での連携を、<u>地域性への配慮を含めて</u>検討することが望ましい。」</p> <p>(アンダーライン部分を追加)</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在の高大連携や高社連携の在り方をさらに発展させ、高校と大学等の双方向での連携の在り方を検討する」となっているが、「在り方」という言葉をとった方がいいのではないか。 	1	<p>ご意見を反映しました</p> <p>11ページ(6)【方向性】の2～3行目を次のように修正しました。</p> <p>「現在の高大連携や高社連携をさらに発展させ、高校と大学等の双方向での連携を・・・検討する</p>

			ことが望ましい。」「(「の在り方」を削除しました。)
	・将来に役立つ学習、職場体験などができる学校を、一保護者として望む。	1	本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、11ページ(6)【方向性】に「生徒一人一人の職業観・勤労観を育成するために、これまでの取組を一層進め、すべての学科において、インターンシップなどの就業体験や職業体験をさらに推進していくことが望ましい」と記述しています。
(7)魅力ある教育活動の推進に当たっての視点	・教員の意識改革がうたわれているが、具体策が必要ではないか。 ・熱意のある魅力的な先生がいる学校がいい。	2 2	ご意見を反映しました 11ページの(7)【方向性】の2～5行目を次のように修正しました。 「特色化を推進する上で教職員一人一人が各学校の特色化を自分のこととして受け止め、自らの資質の向上を図るよう、研修の一層の充実などを通じて、教職員の意識改革の具体化を進めることが望ましい」(アンダーライン部分を追加)
	・検討委員会が教職員の研修や、授業の評価の在り方まで提案するのはおかしい。	3	本検討委員会としては、11ページ(7)に「魅力ある教育活動の推進に当たっての視点」として、制度やシステムの改革を推進することと併せて、教職員の意識改革や授業改善、評価方法の研究などの取り組みを進めることが望ましいとの考えを示しています。
	・今後は、個性化・多様化の推進だけでなく、各学校の授業の内容の充実を図る時期にきていると思う。	1	本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、11ページの(7)【方向性】の中に「幅広い確かな学力を育成するために、各学校で授業研究を行い授業改善を行うことや評価方法の研究などの取組をさらに進めることが望ましい」と記述しています。
	・今年度より数学理科甲子園や教材教具コンテストを実施しているが、よいことであると思う。こうした授業交流を進める仕組みができればいいと思う。	1	ご意見を反映しました 12ページの(7)【配慮すべき事項】の2行目を次のように修正しました。 「授業改善や評価方法の研究などの取組を進める上では、中学校の教員等参加対象を広げた授業や教材・教具についての研究の実施、・・・」 (アンダーライン部分を追加)
2 県立高等学校の望ましい規模と配置	・小規模校の活性化方策については賛成である。	1	本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。
	・方向性の1点目と2点目について、地域の実情だけでなく、「配置状況」も入れてはどうか。	1	ご意見を反映しました 12ページ2【方向性】の1行目を次のように修正しました。
	・北神地域には県立高校が1校しかいないため、通学に係る通学時間や費用が大きな負担になっている。高等学校の配置状況についても通学の利便性など地	1	「高等学校の規模と配置については、・・・」 (アンダーライン部分を追加)

<p>域の状況を考慮して検討して欲しい。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・西播学区の過疎化が懸念される地域に居住する者として、配慮すべき事項に「通学の利便性等地域性についても考慮」「地域の過疎化への影響にも考慮」等の文言が明記されていることを高く評価する。 ・「小規模校や分校における活性化方策を地域とも連携して十分研究した上で、存続するか、統合又は募集停止するかについて検討する」と、「存続」の選択肢を明言された点は評価できる。 	<p>1</p> <p>3</p>	<p>本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校や分校の存続については、地域の過疎化や通学の利便性における経済的な負担にまで目を向けた、慎重な議論をお願いしたい。 	<p>1</p>	<p>ご意見を反映しました 12ページ2【配慮すべき事項】の2行目を次のように修正しました。 「・・・通学の利便性や交通費等地域性についても十分考慮すべきである」 (アンダーライン部分を追加)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校や分校の統合や募集停止については、地域における学校の位置づけや、中学校の進路指導に与える影響にも配慮してほしい。 	<p>2</p>	<p>ご意見を反映しました 12ページ2【配慮すべき事項】の3～4行目を次のように修正しました。 「小規模校や分校における存続については、その活性化方策を研究し地域の過疎化や中学校の進路指導への影響にも配慮するとともに、・・・」 (アンダーライン部分を追加)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合については、今後も生徒数が減少すると考えられるため、学校の教育活動の維持のため行うことは理解できるが、地域に様々な状況があることを慎重に検討してほしい。 	<p>1</p>	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、12ページの2【配慮すべき事項】の中に「統合や募集停止を行う際には、中学校の卒業生数の推移等を踏まえるとともに、通学の利便性や交通費等地域性についても十分考慮すべきである」と記述しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・方向性の中で、小規模校や分校の活性化対策を研究した上で、存続するか、統合又は募集停止するかについて検討することになっているが、淡路では生徒数の減少が顕著であり、早めに結論を出す必要があるのではないか。 ・小規模校はできるだけ存続の方向で考えてほしい。 ・丹波市や篠山市は過疎の状況にあり、生徒数が減っている。機械的な高校の統廃合ではなく、学級定員を減らし、学級数を維持し、高校の存続を図ってほしい。 ・但馬地方は広い地域に高校が点在しているため、人口だけを見て統廃合を行 	<p>1</p> <p>5</p> <p>1</p> <p>3</p>	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります 本検討委員会では、12ページ2で方向性を示していますが、具体の地域や学校についての協議はしていません。ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>

<p>わないでほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淡路の分校の統廃合については、地域の声をきいてほしい。 	1	
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣学区との統合に関しては、中学校での進路指導に与える影響を考慮して、慎重を期して欲しい。 ・神戸第一・芦屋学区と神戸第二学区の統合は構わないと考えるが、神戸市を全市で1区とすることについては慎重に考えてほしい。 	1 1	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、12ページ2【配慮すべき事項】に「新しい選抜制度の導入に際して、学校選択の幅を確保する観点から近隣学区を統合する場合には、中学校の進路指導に与える影響についても配慮する必要がある」と記述しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・全県1学区とはいわないが、学区を大きく括ることも必要だと思う。 ・学校の個性化と生徒の選択幅の拡大を考えるなら、学区の拡大はやむを得ないと思う。 ・少子化により学校規模を縮小せざるを得ないならば、学区の統合は推進の方向で検討していただきたい。 ・片道2時間かけて登校する生徒が今以上に増加することになる学区拡大が、ニートやフリーターの増加に対する有効な方策とは思えない。 ・学区の拡大・統合は、生徒の負担の増大、格差の激化を招く。反対である。 ・南但学区と北但学区の統合は、遠距離通学を余儀なくされ、教育費の大幅負担増が強いられるため反対である。 ・通学区域の拡大については、慎重な配慮が必要である。 	2 1 1 1 5 3 1 2	<p>今後の検討課題となります 12ページの2【方向性】で「学区については、 ・・・今後その見直しを含めて望ましい在り方を検討していく必要がある」と記述しているとおり、今後、県教育委員会の検討課題となります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数や高校数等の地域の実情を考えて、地域の開門率が維持・継続するよう要望する。 	1	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、12ページ2【配慮すべき事項】に「中学校の卒業生数の推移等を踏まえるとともに、通学の利便性や交通費等地域性についても十分考慮すべきである」と記述しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・郡部の小規模校や分校の活性化対策として、特別支援学校の分校や分教室の設置を検討すべきではないか。 ・小規模でも特色ある学校があって欲しい。特に、学習障害や発達障害の人たちに、高校教育の場が必要である。 	1 1	<p>今後の検討課題となります ご意見の趣旨については、検討委員会としては14ページ「おわりに」の中に、「平成18年3月に障害児教育の在り方検討委員会が提言した『本県の障害児教育の現状と今後の在り方』」の中に示された、高等学校における特別支援教育の方向を踏まえた対応を研究することや・・・問題なども今後の検討課題であるとの意見が出されたことも付言しておく」と記述していますが、具体的な内容については、今後、県教育委員会の検討課題となります。</p>

<p>3 入学者選抜制度 ・方法の改善</p>	<p>・複数志願選抜が導入されることには賛成である。</p>	<p>3 本検討委員会の素案を支持するご意見と考えています。</p>
	<p>・火急に総合選抜を見直し、複数志願選抜を導入すべきである。 ・総合選抜学区では、尼崎学区と明石学区での検証ができてから導入を検討してはどうか。</p>	<p>1 第二次実施計画を推進する際の参考となります 本検討委員会では、12ページの3【方向性】の中に「全県的に導入を推進することが望ましい」と記述していますが、ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
	<p>・明石学区にも新しい選抜制度が平成20年度から導入されるが、利便性確保の工夫や、説明会等での各校のさらなる魅力のPRや制度の周知が強く望まれる。 ・高校入試制度をわかりやすく子供や父母に伝えてほしい。</p>	<p>1 ご意見を反映しました 12ページ3【配慮すべき事項】の3～4行目を次のように修正しました。 「新しい選抜制度を導入する際には、制度の趣旨や仕組みについて中学生や保護者に<u>継続的に十分</u>周知・広報を図る必要がある」 (アンダーライン部分を追加)</p>
	<p>・姫路・福崎学区や北播学区は広い地域に学校が点在している学区なので、今後地域の事情を踏まえた有効な工夫を強く望む。また、次年度受検の中学生や保護者が、制度を十分理解できるよう、周知・広報をして欲しい。 ・加西市では交通の便が悪く、高校選択の条件として通学しやすい地元の高校を希望する者が多い。北播学区の複数志願選抜では、今後も北播学区の交通事情を勘案して、第1志望加算点を他の学区より大きい35点に据え置いてほしい。また、加西市内の高校にコースや学科を設置して受検生の選択肢を広げてほしい。 ・都市部の学区における複数志願選抜の利点は十分に評価するが、西播学区では「地域の実情を踏まえた工夫を検討する」との方向性に沿って、慎重に検討を進めて欲しい。 ・淡路地域では高校の立地条件、交通の利便性等から、自分の地域の高校へ進学したい希望を持っている生徒が多いため、地域の特性等を十分に考慮してほしい。 ・但馬地域では、希望する生徒が地元の学校に通えるよう、連携校方式の維持が必要と考える。</p>	<p>4 ご意見を反映しました 12ページ3【配慮すべき事項】の1～2行目を次のように修正しました。 「広い地域に学校が点在している学区については、<u>それぞれの学区ごとに</u>地域の実情を踏まえた<u>有効な工夫</u>を検討する必要がある」 (アンダーライン部分を追加)</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>
	<p>・総選学区では、父母・生徒から総選変更の希望が出ているわけではない。なのに、行政主導で総選を廃止し複数志願制度を導入・拡大するのはおかしい。</p>	<p>2 新しい選抜制度は、平成20年度から総合選抜の学区である尼崎学区と明石学区にも導入することになります。尼崎市と明石市ではそれぞれ学校教育審議会や選抜制度検討委員会を設置し選抜制度</p>

	<p>県民・地域住民の意見を聞いて進めるべきだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合選抜は、近くの高校に通えるため、交通費がいらす、友人関係は親になっても続く。また、高校間に序列がないため、子供に優越感や劣等感が生まれない。 ・総合選抜制度を守り、地域の学校に胸をはって行けるように、地域に根ざした教育をして欲しい。 ・新しい選抜制度を「導入する際」だけでなく、導入するかどうかについても、地域住民の意向を聞いて反映して欲しい。いくつかの学区での説明等をみると、中学生や保護者への十分な周知・広報がどの程度のものか危惧する。 ・総合選抜の学区には、特色選抜のみを導入してはどうか。 	<p>1 5</p> <p>1 5</p> <p>1</p> <p>1</p>	<p>についての検討がなされ、説明会等も実施された上で、市教委から県に対して新しい選抜制度を導入する旨の要望書が提出されたという経緯があると聞いています。</p> <p>新しい選抜制度については、資料の46～62ページの検証結果からみても、12ページの3【方向性】に記述したように、「各学校の個性化・特色化を進めながら、全県的に導入を推進することが望ましい」と考えています。</p> <p>なお、新しい選抜制度を導入する学区への周知・広報については、資料の62ページにあるとおり、「理解していた」と答えた新入生・保護者の割合が増えており、制度の定着が進んでいると考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての高校において特色選抜を導入してほしい。 ・特色選抜において口頭試問を導入し、リーダー養成を目指してはどうか。 	<p>1</p> <p>1</p>	<p>具体の施策を実施する際の参考となります ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会 が新しい選抜制度の導入を推進していく際の参考 となります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・定員割れが連続して起こっている公立高校があるので、地元の生徒が優先されるような選抜方法を考えてほしい。 ・入学者選抜制度における絶対評価の扱いについて、検討してほしい。 	<p>1</p> <p>1</p>	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会 が第二次実施計画を推進する際の参考となりま す。</p>
<p>4 定時制・通信制 高等学校の活性化 と望ましい配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多部制高校の全県的な配置を望む。 ・多部制の定員をもっと増やすべきだ。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯が増えている中で、定時制を削減しないで欲しい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制・通信制高校は、働く意志があっても低賃金での労働を余儀なくされた人や、不登校などの理由で進学できなかった人々が再チャレンジできるために、存在意義はこれから一層大きくなると思う。 	<p>1</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p>	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、13ページ4【方向性】に「生徒の多様な学習ニーズに対応するために、1学年複数学級の多部制単位制高校の設置を、学校数や生徒数の多い地域について・・・推進することが望ましい」と記述しています。</p> <p>ご意見を反映しました 13ページ4【配慮すべき事項】の5行目を次のように修正しました。 「・・・障害のある生徒が学んでいること、<u>授業料減免者が緩やかな増加傾向にあること</u>についても、視野に入れて検討する必要がある」 (アンダーライン部分を追加)</p> <p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、13ページ4【配慮すべき事項】の中に、「定時制高校の充足率は、経済・社会情勢の変化から高まっている傾向にあり、定時制の募集停止については、全日制高校も含めた県立高校全体の望ましい配置も視野に入れ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制高校は、様々な事情で昼間の高校に通えない生徒やもう一度チャレンジしたいと思う若者にとって、大切な砦になっている。定時制高校をなくさないで欲しい。 ・農村部における定時制の統廃合は、慎重にして欲しい。 ・夜間定時制の存在意義は高くなると考えられる。これ以上減らすと選択肢を狭くすることになると思う。 ・定時制については、現在の社会情勢を考慮の上、全日制も含めた県立高校全体の望ましい配置をふまえて慎重に検討してほしい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・中退者や不登校経験者、障害のある生徒への視点が明記されている点を評価する。「軽度発達障害」の子どもたちは、制度のはざまにおかれているのが実態である。 ・障害のある生徒に関する記述が、定時制・通信制高校の所だけというのは、限定的な考え方ではないか。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・定時制と全日制併設の学校は、運営面、管理面において分割すべきである。 	<p>1 4</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>2</p>	<p>ながら、慎重に検討する必要がある」「多部制単位制高校の設置や定時制・通信制高校の在り方を考える際には、中途退学者や不登校経験者、障害のある生徒が学んでいること、授業料免除者が緩やかな増加傾向にあることについても、視野に入れて検討する必要がある」と記述しています。</p> <hr/> <p>今後の検討課題となります ご意見の趣旨については、検討委員会としては14ページ「おわりに」の中に、「平成18年に3月障害児教育の在り方検討委員会が提言した『本県の障害児教育の現状と今後の在り方』」の中に示された、高等学校における特別支援教育の方向を踏まえた対応を研究することや・・・なども今後の課題であるとの意見が出されたことも付言しておく」と記述していますが、具体的な内容については、今後、県教育委員会における検討課題となります。</p> <hr/> <p>今後の検討課題となります ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会における検討課題となります。</p>
おわりに	<ul style="list-style-type: none"> ・現在中学校では、特別支援学級など生徒の個性を大切にしたい取組が行われている。スロープやトイレなどバリアフリーのための施設を充実させてほしい。 ・障害ある生徒たちの進路について、今後特別支援教育が広がっていく中で、対象とする生徒の増加が予想される。そうした現状を把握した対策が実施されるよう要望する。 ・地域の特別支援学校との連携をお願いしたい。 ・障害のある生徒も地域の高校で共に学べる体制をお願いしたい。 	<p>1</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>2</p>	<p>今後の検討課題となります ご意見の趣旨については、検討委員会としては14ページ「おわりに」の中に、「平成18年3月に障害児教育の在り方検討委員会が提言した『本県の障害児教育の現状と今後の在り方』」の中に示された、高等学校における特別支援教育の方向を踏まえた対応を研究することや・・・なども今後の課題であるとの意見が出されたことも付言しておく」と記述していますが、具体的な内容については、今後、県教育委員会における検討課題となります。</p>
その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・30人以下学級を早く実現させ、生徒一人ひとりに教師の目が行き届くようにして欲しい。特に過疎地での少人数学級を先行的に実施してほしい。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人に学ぶ場所と働く場所は絶対必要である。美しい国とは、若い人がい 	<p>1 9</p> <p>1</p>	<p>多くの高校で、必要に応じて習熟度別授業や少人数授業が実施されています。</p> <hr/> <p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、7ページ5【課題】の</p>

<p>きいきと生きられる国である。</p>		<p>中に「ニートやフリーター、引きこもりなどの問題からみても、社会性を発達させるキャリア教育の充実が求められている。しかし、こうしたことに対応していくためには、学校教育だけでなく家庭教育も重要であり、企業の採用をはじめとした社会の問題も影響しているのではないかと記述しています。</p>
<p>・教育改革の名の下に、教育に経済効率と競争を持ち込み、子どもたちの中に格差を作るべきではない。</p>	6	<p>本検討委員会では、9ページに記述しているように、今後の高校教育のあり方を視野に入れつつ第二次実施計画の方向性を検討しています。</p>
<p>・第二次実施計画では、改革の姿が明確にイメージできる程度に具体的な内容を示してほしい。</p>	1	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります ご意見の趣旨については、今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
<p>・公立高校の保護者向け合同説明会を行ってはどうか。</p>	1	<p>第二次実施計画を推進する際の参考となります 今後、県教育委員会が第二次実施計画を推進する際の参考となります。</p>
<p>・第二次実施計画を作るにあたって、各地域の要望を聞き入れるべきである。 ・高校生や市民の意見をしっかりと聞いてほしい。</p>	5 1	<p>本検討委員会では、各地域と連携することは大切であると考えており、14ページの『おわりに』の中に「県教育委員会においては、この報告を踏まえ、各関係方面・機関等とも連携を図りながら引き続き『第二次実施計画』を策定し」と記述しています。</p>
<p>・そもそも長期構想検討委員会の性格・位置づけがよくわからない。委員の人も不満である。</p>	5	<p>本検討委員会は、平成12～20年度までの「県立高等学校教育改革第一次実施計画」の評価・検証と、平成21年度以降の「第二次実施計画」の方向性を検討するための委員会として設置されています。</p>
<p>・会議が公開されていないことなど、長期構想検討委員会の会議の運営方法がおかしい。</p>	2	<p>検討委員会の会議の公開については、第1回検討委員会で、委員による自由な立場での率直な意見の交換や、公平・公正な協議を確保するために、非公開とすることが委員の総意により決められています。しかし、議論の内容については、発言要旨として県教育委員会のホームページに公開しています。</p>
<p>・IT環境など、県立高校の設備等の教育条件を整備してほしい。</p>	6	<p>本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、14ページの『おわりに』の中に「高校教育改革を着実に推進されるとともに、その実現に向けた施策の展開や施設・設備の充実など、財政措置を含めた必要な公的支援を講じられるよう要望する」と記述しています。</p>
<p>・公表された発言要旨ではいろいろな意見が出されている。素案のとりまとめ</p>	8	<p>本検討委員会では、すでに4回の委員会を開催し、十分協議をした上で今回報告（素案）をとり</p>

が拙速である。		まとめ、パブリック・コメントとして県民の方々の意見をお伺いしています。
・パブリックコメントの期間が短い。広報も不足している。	7	県で定めたパブリック・コメントの実施要綱に従って、期間を定め、広報活動を行っています。
・兵庫県独自の高校進学保障として、無利子の奨学金制度や、修学援助金の拡充など、貧困家庭への子どもたちへの施策を考えてほしい。	7	本文の趣旨に盛り込んでいます ご意見の趣旨については、14ページの「おわりに」の中に「授業料減免者が緩やかな増加傾向にある問題なども今後の検討であるとの意見が出されたことも付言しておく」と記述しています。
・完全学校週5日制について、現状を検証してもいいのではないか。	1	この件については、国レベルで協議すべきことだと考えています。
・もっと学校や学級数、教師の数を増やして地域の学校を充実することが、子供を大切にしたい長期構想ではないか。	3	対応困難 中学校卒業生数の今後の推移を見た場合、学校数等を増やすことは困難と考えます。
・すべての県立高校を売却し、私立学校とすることを提案する。売却費用は奨学金資金として必要な生徒に支給する。すべての学校が私立になれば教育委員会も不要になり、行政のスリム化が図れる。	1	対応困難 すべての県立高校を売却し、私立学校とすることは困難であると考えます。
・現在の委員会を改め、「学校教育審議会」を開催することを要望する。	5	対応困難 本検討委員会として回答する内容ではないと考えます。